

## 中期目標の達成状況報告書 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	2 頁・4 行	科学技術立国 <u>によって</u>	科学技術立国 <u>として</u>
2	4 頁・29 行	計画 2 - 1 (No.1) 基礎教養	計画 2 - 1 (No.1) <u>現代の</u> 基礎教養
3	8 頁・資料 A-11 : H16 学部カリキュ ラムの見直し概 要・5 行	新学修指導要領	新学習指導要領
4	12 頁・2 行	就職指導体制・・・希望する <u>学科専 攻</u>	就職指導体制(現行の全学的な就職説明 会、学科、専攻ごとの就職担当教員によ <u>る支援体制</u> )・・・希望する専攻
5	20 頁・1 行	<u>バックグラウンド</u>	<u>バックグラウンド</u>
6	21 頁・12 行	(平成 15 年実施)	(平成 15 年 <u>度</u> 実施)
7	26 頁・資料 B-15 : 自主学習支援の取 組実績・13 行	(平成 18 年 3 日 7 日)	(平成 18 年 3 月 7 日)
8	27 頁・7 行	平成 <u>20</u> 年度	平成 <u>19</u> 年度
9	27 頁・資料 B-16 : インターンシップ 履修者及び受入れ 企業	実施企業社数 91名 103名 131名 117名	実施企業数 91社 103社 131社 117 社
10	32 頁・37 行	実施して <u>く</u>	実施して <u>いく</u>
11	33 頁・17 行	<u>教養および基礎教育</u> ・・・協力と参加 を促して、	教育・・・協力と参加を促し、
12	46 頁・資料 E-7 : 学生生活環境整備 の実施状況・23 行	<u>講義等</u> (C棟)	<u>講義棟</u> (C棟)

	頁数・行数等	誤	正
13	48 頁・33 行	(株) エヌ・ティ・ティ・ドコモ <u>(株)</u>	(株) エヌ・ティ・ティ・ドコモ
14	49 頁・9 行	大学発事業創出実用化研究開発 <u>助成</u> 事業	大学発事業創出実用化研究開発事業
15	54 頁・別添資料 10	【別添資料 10】産学連携 DAY パンフレット	【別添資料 10】産学 <u>官</u> 連携DAY <u>in</u> 電通大パンフレット
16	62 頁・13 行	アジア <u>教育</u> 研究拠点事業	アジア <u>研究</u> 教育拠点事業
17	62 頁・資料 G-8 : レーザー新世代研究センターにおける主要事業概要・6 行	アジア <u>教育</u> 研究拠点事業	アジア <u>研究</u> 教育拠点事業
18	64 頁・資料 G-11 : 国際交流推進センター活動実績一覧・2 行	アジア ( <u>12</u> 件)	アジア ( <u>10</u> 件)
19	65 頁・資料 G-11 : 国際交流推進センター活動実績一覧 8 行	教育研究 <u>特別</u> 経費	<u>特別</u> 教育研究経費
20	65 頁・1 行	ベン <u>チ</u> ャー	ベン <u>チ</u> ャー

## 学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 1-3・資料 A-3：電気通信学部 の教育方針・25行	人間性養われなければならない	人間性を <u>養</u> われなければならない
2	教育 1-10・10行	124～ <u>138</u> 単位	124 単位～ <u>139</u> 単位
3	教育 1-20・8行	<u>重要性</u> を指導	<u>重要性</u> の指導
4	教育 1-32・13行	質の向上があったと <u>する</u> 判断する取組	質の向上があったと判断する取組
5	教育 1-33・2行	質の向上があったと <u>する</u> 判断する取組	質の向上があったと判断する取組
6	教育 1-33・8行	質の向上があったと <u>する</u> 判断する取組	質の向上があったと判断する取組
7	教育 1-34・7行	質の向上があったと <u>する</u> 判断する取組	質の向上があったと判断する取組

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 2-4・資料 B-1：各専攻の概要・5行	<u>事前減少</u>	<u>自然現象</u>
2	教育 2-4・資料 B-1：各専攻の概要・28行	<u>指名</u>	<u>使命</u>
3	教育 2-5・資料 B-1：各専攻の概要・17行	高度コミュニケーションの <u>社会</u>	高度コミュニケーション社会
4	教育 2-12・9行	学部学生の <u>専攻履修</u>	学部学生の <u>先行履修</u>
5	教育 2-17 資料 G-1:各年度修了率	標準就業年限 (4箇所)	標準修業年限 (4箇所)
6	教育 2-22 資料 J-1:卒業生アンケート調査、 (5)-4 アンケート文	学習した内容が <u>自体が</u>	学習した内容自体が
7	教育 2-26・4行	平成 <u>18</u> 年度	平成 <u>17</u> 年度

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 3-3・7 行	平、成	平成
2	教育 3-3・29 行	画自由闊達	自由闊達
3	教育 3-17・5 行	e-Learning活用	eラーニング活用
4	教育 3-19 資料 H-1: 各年度修了率	標準就業年限 (4 箇所)	標準修業年限 (4 箇所)
5	教育 3-23 資料 K-1: 卒業生アンケート調査、 (5)-4 アンケート文	学習した内容が <u>自体</u> が	学習した内容 <u>自体</u> が
6	教育 3-26・6 行	充足率については	充足率につ <u>いて</u> は
7	教育 3-27 資料 H-1: 各年度修了率・学位取得率	標準就業年限 (2 箇所)	標準修業年限 (2 箇所)

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 1-2・22 行	ソフトウェア	ソフト <u>ウ</u> ェア
2	研究 1-3・28 行	ロボティ <u>ク</u> ツス	ロボティクス

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 2-6・31 行	e-Learning 推進センター	eラーニング推進センター